

第 27 回 全国建築塗装技能競技大会

実 施 要 項

日 時：令和 5 年 10 月 18 日～19 日
場 所：ハイブ長岡 大展示場ホール

主 催 一般社団法人 日本塗装工業会

一般社団法人日本塗装工業会会歌

のびよわれらの日塗装

作詞 伊藤 喜三郎
作曲 中村 八大

一 青い空だよ 日本晴れた
真赤な屋根に 白い壁
山の緑も 映えている
塗装で明るい 環境づくり
のびよ われらの 日塗装

二 暑さ寒さも なんのその
蔭の力の 功労者
今日も元気で 若人が
塗装で明るい 町づくり
のびよ われらの 日塗装

三 高いビルにも 家庭の中も
建設機械や 工場も
世界のなかまと 手をつなぎ
かかせぬ塗装で 国づくり
のびよ われらの 日塗装
のびよ われらの 日塗装

あ おい そら だよ につぼんば れー だ
まっ かな やね ーに しろい か べ
や まの みど りも はえていー る
とそ うで あか るいー かんきょうづ くり のびー
よ われら の につ とそ う

目 次

1. 開催にあたって（会長挨拶）	1
2. 第27回全国建築塗装技能競技大会にあたって（実行委員長挨拶）	2
3. 大会役員	3
4. 全国委員	4
5. 審査員	5
6. 大会実施要領	6
7. 出場選手日程表	8
8. 審査員日程表	9
9. 実技課題	10
10. 調色板課題図	22
11. 1人当たりのスペース	23
12. 支給塗料一覧表	24
13. 支給品一覧表	25
14. 選手持参一覧表	26
15. 褒章内訳一覧表	27
16. 会場・宿舎案内図	28
17. 競技会場平面図	29
18. 出場選手	30
19. 出場選手の心得	32

1. 開催にあたって

一般社団法人 日本塗装工業会
会 長 加 藤 憲 利

この度、第27回全国建築塗装技能競技大会を4年ぶりに新潟県長岡市において開催することとなりました。開催にあたりましては、国土交通省、厚生労働省のご指導ご鞭撻をはじめ、関連諸団体、報道機関のご支援ご協力を頂きました。とりわけ開催地である新潟県ならびに長岡市ご当局の深いご理解を賜り厚く御礼申し上げます。また当会北陸ブロック、新潟県支部、技能委員会の皆様には、コロナ禍による様々な制限下での諸準備に多大なるご尽力を頂きました。実行委員長はじめ関係各位には、衷心より御礼、感謝申し上げます。

本大会は昭和43年東京都渋谷区の塗装会館におきまして、全国より29名の精鋭を集めて第1回大会が開催されました。以来、今日まで脈々と歴史を刻んで参りました。この間、新材料・新工法の開発、技能の多様化、環境問題など社会情勢の変化に伴い、競技課題や使用材料等を変更して参りました。そして今大会は、平成25年の第23回大会以来、競技課題をはじめ様々な見直しを行いました。主催者一同、時代に沿った大会になるものと確信しております。

さて、少子高齢化、人口減少の時代を迎えた我が国において、塗装業界では処遇改善をはじめ若手技能者が働きやすい環境を整えていくと同時に「技術の継承・技能の伝承」「人づくり」を推進し、「希望あふれる塗装工事業」として次世代を担う有為な後継者を育成することが求められております。本大会は、技能者としての誇りや日ごろの努力の成果を広く内外に示すものであります。大会を通じ、多くの方に塗装工事業へ関心を持って頂くと同時に、塗装の持つ魅力や可能性をアピールする絶好の機会となっております。

また、当会では「女性活躍の推進」実現のため、昨年度から「けんせつ女子ビューティーセミナー」を全国各地で企画・開催し、多くの建設に携わる女性にご参加いただきました。加えて、新たな取り組みとして、女性会員および後継者との意見交換会の全国での開催を計画しております。まだまだ女性塗装技能者が少ない中、今大会では多くの女性選手が各地で選抜されました。女性活躍の旗手として、遺憾なく日頃の力を発揮頂きたいと思っております。

結びに、選手を派遣して頂きました会員各社の皆様には大会へのご理解を頂き誠に有難うございます。お蔭様で回を追うごとに充実して参りました。心より御礼申し上げます。今後も、技能委員会を中心に塗装技術・技能に対するたゆまぬ研究と研鑽を続けてまいりたいと思っております。

数多くの技能士の中から選ばれた出場選手の皆様は、卓越した技能を有するだけでなく業界の模範となる方々でもあります。日頃の実力を遺憾なく発揮され、力いっぱい健闘されますことをご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

2. 第27回全国建築塗装技能競技大会にあたって

実行委員長 加藤 正

いよいよ本年、令和5年10月18日、19日の2日間に渡り、新潟県長岡市のハイブ長岡で第27回全国建築塗装技能競技大会を開催することとなりました。大曲、土浦と並び、日本三大花火大会の一つ、長岡花火の開催地であります。

この技能競技大会は、昭和43年に東京で第1回大会が開催され、前回第26回大会は令和元年に北九州市で開催されました。今大会は4年ぶりの開催となり、全国10ブロックから選ばれた38名の卓越した技量を持った選手が塗装の技を競います。また、今大会から競技課題が大幅に見直され、より技術、技能が重要視される課題となっております。

本部及び技能委員会のご指導のもと、北陸ブロック会員一丸となって準備を重ねて参りました。

大会ポスターは、長岡造形大学の学生さんに作成を依頼いたしました。2つの異なるデザインの連作となっており、一つは選手の真剣な「表情」をとらえた写真を選定し、大胆にトリミングをすることで力強さを表現しました。

また、もう一つは刷毛を持つ「手」を、若い人や女性にも受け入れやすいイラストレーションで職人の手仕事のぬくもりを感じられるデザインとなっております。この二種類のインパクトのあるデザインを並べることで、一体何のポスターだろう？と見る人の興味をそそり、強い存在感を放ち、人々の目を引き、大会のことをしっかりと伝えるポスターとなっております。

競技課題（B）課題の色は新潟県鳥である「朱鷺」にちなみ、「朱鷺（とき）色」にしました。日塗装のロゴマークも「朱鷺色」に映えることでしょう。

塗装の目的は保護と美観です。環境への配慮や新技術、新材料の発展と共にそれを支える技術・技能の継承は最重要課題であります。本大会が優れた技能者を称えとともに、のちに続く人材を創出し、今までに培った技能を将来へと繋げて行く事を目的としています。

選手の皆さんには、内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞等、各賞の受賞を目指して、日頃の技術技能をいかに発揮される事を切に願います。

最後になりましたが、御後援、御協賛をいただきました関係官公庁、各団体及び企業、メーカー・販売店、各位には心より厚く御礼を申し上げ挨拶とさせていただきます。

3. 大会役員

大会会長	加藤 憲利				
大会副会長	若宮 昇平	松室 利幸	西下 武則	宮木 章吉	
北陸ブロック代表	林 孝				
実行委員長	加藤 正				
実行副委員長	林 孝	祖泉 信宏	岡本 保男	青柳 博之	
総務部会	◎若山 良夫	○島村 元章	○齋藤 春行	内田 仁	
選手サポート部会	◎清水 武彦 福島 信之	○佐藤 重也	○海津 直史	曾我 栄司	
会場設営部会	◎服部 邦英 山田 茂典 今井 利典	○阪西由紀夫 富澤 肇 土田 慶和	土田 直人 小野塚 実 諸橋宏次朗	高橋 伸光 斎藤 正安 渡辺 司	
支給品および採点部会	◎岩尾 憲諭 羽入田義徳	○平川 由博	平林 健恒	金田 真人	
顧問	木村 一美	齋藤 春夫	三浦 政實		

注) ◎印 部会長
○印 副部会長

4. 全 国 委 員

〔常 任 理 事〕

河野 敬幸 伊藤 龍平 宮前 護 長谷川 秀樹 片桐 久

〔ブ ロ ッ ク 理 事〕

稲葉 了大 相馬 真二 池田 俊夫 今村 文治 林 孝 小寺 徹也
早瀬 利典 岩崎 浩 池田 昭大 木下 顕

〔会 員 理 事〕

大島 一哉 松川多喜夫 飛鳥 淳 鈴木 博巳 奥野 眞一 山崎 久康
森 大輔 木村 一美 森 有光 中川 欣二 小室 浩之 澤田 浩一
井上 良一 菅原 清司 宮寄 香 朽木 充嗣

〔支 部 長〕

大坂 巖 松田 隆二 太田 健 上村 直人 青山健太郎 西浦 建貴
宮澤 度 渡辺 潮 加藤 正 祖泉 信宏 岡本 保男 小林 力
五味 広行 杉本 定幸 今江 光宏 廣川 司 林 秀典 栗原 佳宏
古志野 功 木村 彰仁 木原 全弥 檜垣 康彦 藤目 充伸 西田 政文
池田 幹友 藤田 淳 出端 隆治 伊藤 英治 佐藤 佳郁 堂地 隆一
市坪 孝志 比嘉 章博

5. 審 査 員

審査員長	松 田 勝 巳 (大 阪・技能副委員長)
審 査 員	
	中 山 正 人 (北海道・技能委員)
	佐々木 謙 一 (岩 手・技能副委員長)
	田 口 真 澄 (秋 田・技能委員)
	齊 藤 佳 昭 (茨 城・技能副委員長)
	中 嶋 薫 (群 馬・技能委員)
	石 塚 俊 伸 (東 京・技能副委員長)
	宮 下 昭 造 (石 川・技能委員)
	大 南 拓 哉 (愛 知・技能副委員長)
	石 川 匡 洋 (三 重・技能委員)
	大 内 晋 一 (大 阪・技能委員)
	宮 平 和 浩 (鳥 取・技能副委員長)
	影 浦 達 也 (愛 媛・技能副委員長)
	福 田 勲 (福 岡・技能委員)
	小 川 裕 治 (佐 賀・技能副委員長)
計	15 名 (審査員長含む)

〈審査員資格〉

- (1) 一般社団法人日本塗装工業会会員であること。
- (2) 1級建築塗装技能士または職業訓練指導員免許を取得している者。
- (3) 塗装実務経験20年以上の者。
- (4) 上記(2)、(3)のいずれかに該当し、心身とも健康な者で技能委員とする。
- (5) 自社より出場選手のある者は審査員となることは出来ない。
- (6) 審査員は大会役員・全国委員を兼務できない。

6. 大会実施要領

1. 目的

大会に参加する選手個々の人格、識見の高揚を目指し、より高度な塗装技能を競い、技能士としての自覚と能力の向上を図ることを目的とする。

2. 主催 一般社団法人 日本塗装工業会

3. 後援 (予定)

国土交通省、厚生労働省、新潟県、富山県、石川県、福井県、長岡市、中央職業能力開発協会、(一社)日本塗料工業会、日本塗料商業組合、日本建築仕上材工業会、長岡造形大学、(一社)長岡観光コンベンション協会、(一社)新潟県建築士事務所協会、新潟日報社、(株)日本工業経済新聞社 新潟支局、(株)北陸工業新聞社 新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟

4. 期 日 令和5年10月18日(水)～19日(木)

5. 競技会場 ハイブ長岡 大展示ホール

所在地：新潟県長岡市千秋3丁目315-11 電話：0258-27-8812

6. 参加資格

(一社)日本塗装工業会 第27回全国建築塗装技能競技大会 ブロック大会の成績上位者(ブロック割当数は別に定める)38名。(30～31頁)

[ブロック大会参加資格(抜粋)]

1)『建築塗装技能』のブロック大会出場資格者は1級または2級の建築塗装技能検定の取得者とする。なお、大会出場経験者の参加出場も認める。ただし、以下に該当する大臣賞を受賞した者は出場不可とする。

- ・第22回大会までの大会で、大賞の部門で国土交通大臣賞を受賞した選手。
- ・第23回大会以降の大会で、内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞を受賞した選手。

2) 出場選手は本会会員またはその従業員であること。

7. 参加費 無料 (選手および観覧者)

8. 競技内容

所定の競技課題(10～22頁)を所定の使用材料(24頁)、所定の使用工具(25頁)、各自持参品(26頁)を用いて作成し、その作業動作および完成度について競技する。

9. 服装

作業衣上・下、作業帽は支給するので競技時間中は必ず着用する。

(大会終了後進呈) また、履物は運動靴を持参すること。

10. 使用塗料

必要塗料の一定分量を一組にして各自に支給する。(24 頁参照)

11. 使用工具

各自必要な工具を持参してよいが電動機器類等は禁止する。ただし、競技課題および支給品一覧表(25 頁)を熟読し、必要なものは各自持参する。(26 頁)

12. 副資材

副資材等については支給品一覧表を参照の上、必要なものは各自持参すること。(26 頁)

13. 審査

本会が委嘱する審査員計 15 名により審査する。

審査方法は別に定める採点基準により採点する。

14. 褒賞

内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞、厚生労働大臣賞の他各種賞状および副賞を授与する。
(27 頁参照)

15. その他

①選手の旅費は往復支給する。

②選手の宿泊費(2泊:18日、19日)は無料とする。

また、競技大会前日の17日の宿泊(前泊)については、希望があれば本会にて下記ホテルの手配可能(本会にて宿泊費負担)。ただし、17日の宿泊(前泊)の夕食については各自任意とする(ホテルでは夕食を用意しない)。

選手宿泊先: ホテルリバーイン

住所: 〒940-2021 新潟県長岡市宮関 1-2-1

TEL: 0258-28-2288

③選手の食事支給予定

10月18日(水) 昼食・夕食

10月19日(木) 朝食・昼食・夕食

10月20日(金) 朝食

7. 出場選手 日程表

1. 期 日 令和5年10月18日(水)～19日(木)

2. 会 場 ハイブ長岡 大展示ホール

所在地：新潟県長岡市千秋3丁目315-11 電話：0258-27-8812

月 日	時 間	予 定
10 / 17 (火) 前 日		各選手任意の時間にチェックインし、ホテル宿泊 ※要前泊選手のみ
10 / 18 (水) 第1日	12:00～13:00 13:00～13:30 13:30～13:40 13:50～14:20 14:20～14:30 14:30～18:00 18:00～18:15 18:15～	会場集合、受付(時間厳守)、昼食 着替え・記念撮影 競技課題の説明 開会式 ラジオ体操・作業支度 競技1日目(競技時間3時間30分) 着替え 貸切バスでホテルへ移動、夕食、ホテル宿泊
10 / 19 (木) 第2日	7:20～7:30 7:30～8:00 8:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:00 14:00～16:00 16:00～17:00 17:00～ 19:30～	ホテル出発、貸切バスで競技会場へ移動 着替え・ラジオ体操・作業支度 競技2日目(競技時間4時間) 休憩(昼食) 後片付け(私物・機具等) 作品見学・荷造り・配送手配等 表彰式 記念撮影・着替え・貸切バスで宿舎へ移動 懇親会、ホテル宿泊
10 / 20 (金) 後 日		各選手、ホテルチェックアウト、自由解散

8. 審査員 日程表

1. 期 日 令和5年10月18日(水)～19日(木)

2. 会 場 ハイブ長岡 大展示ホール

所在地：新潟県長岡市千秋3丁目 315-11 電話：0258-27-8812

月 日	時 間	予 定
10 / 17 (火) 前 日		各審査員任意の時間にチェックインし、ホテル宿泊 ※要前泊審査員のみ
10 / 18 (水) 第1日	12:00～12:30 12:30～13:30 13:30～13:40 13:50～14:20 14:20～14:30 14:30～18:00 18:00～18:30 18:30～	各自昼食後、会場集合 着替え・記念撮影、審査員協議 競技課題の説明 開会式 ラジオ体操・審査準備 競技審査 1日目審査集計取りまとめ 貸切バスでホテルへ移動、夕食、ホテル宿泊
10 / 19 (木) 第2日	7:10 7:30～8:00 8:00～13:00 13:00～ 16:00～17:00 17:00～ 19:30～	ホテル出発、貸切バスで競技会場へ移動 ラジオ体操・審査準備 競技審査 休憩(昼食) 表彰式 貸切バスで宿舎へ移動 懇親会、ホテル宿泊
10 / 20 (金) 後 日		各自、ホテルチェックアウト、自由解散

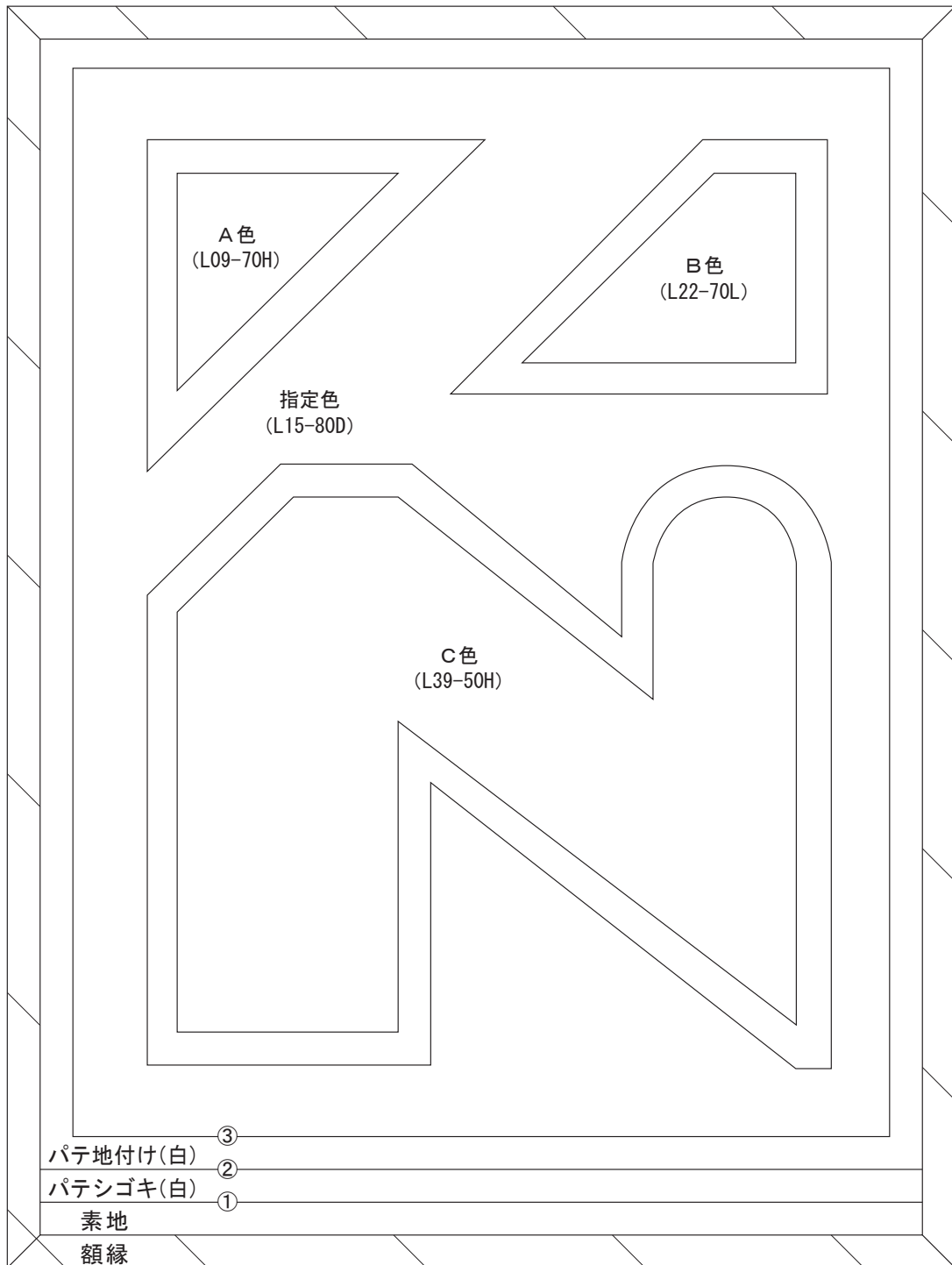
9. 実 技 課 題

第 27 回全国建築塗装技能競技大会

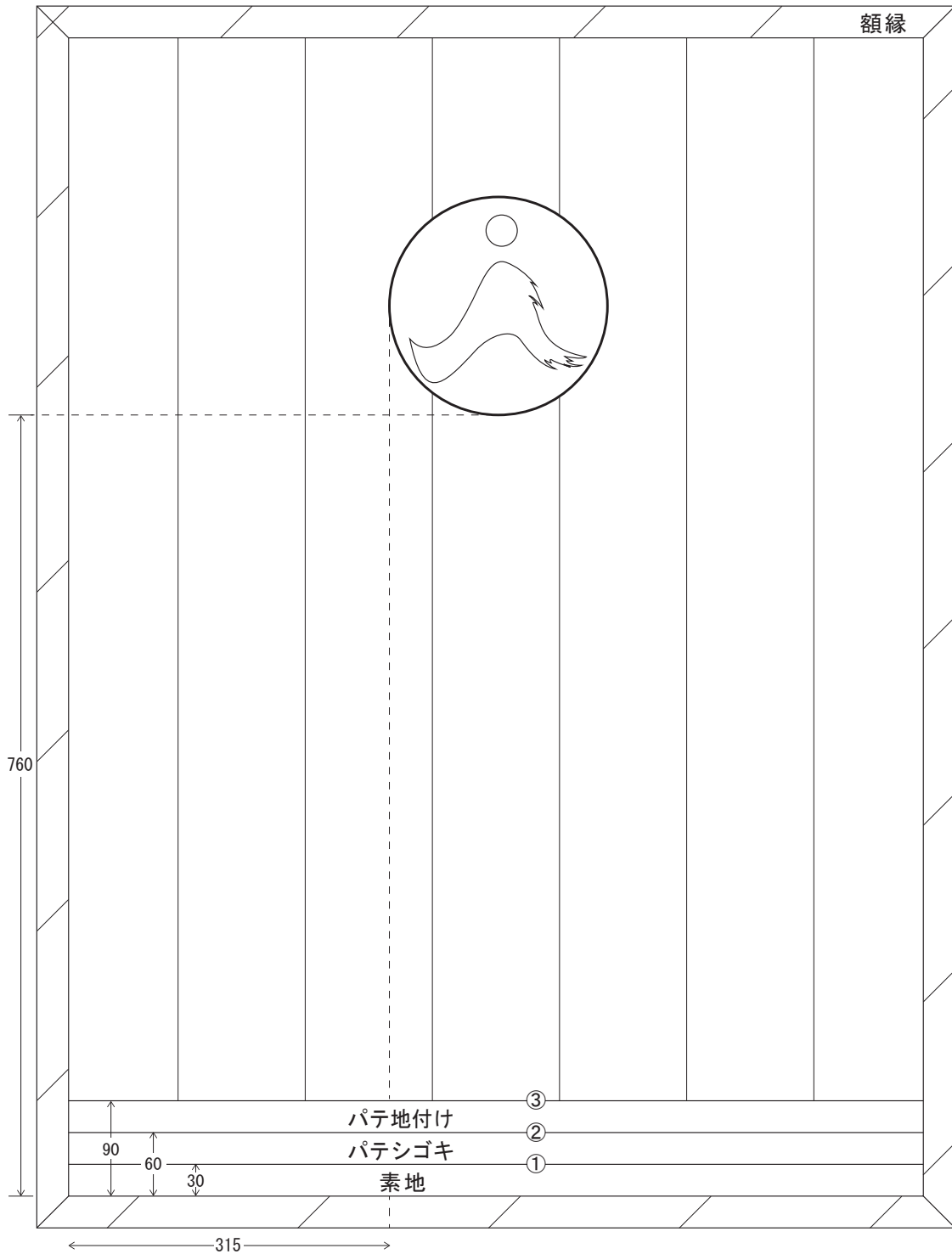
〔注意事項〕

- ・（ ）内の区画線寸法は、およその寸法を示している。
- ・図面の区画線寸法は、「左」から「右」へ、「下」から「上」へを原則として考える。

A課題 (つや有合成樹脂エマルジョンペイント刷毛塗り仕上げ)
 ※アク止め防止のため素地にシーラー塗装済

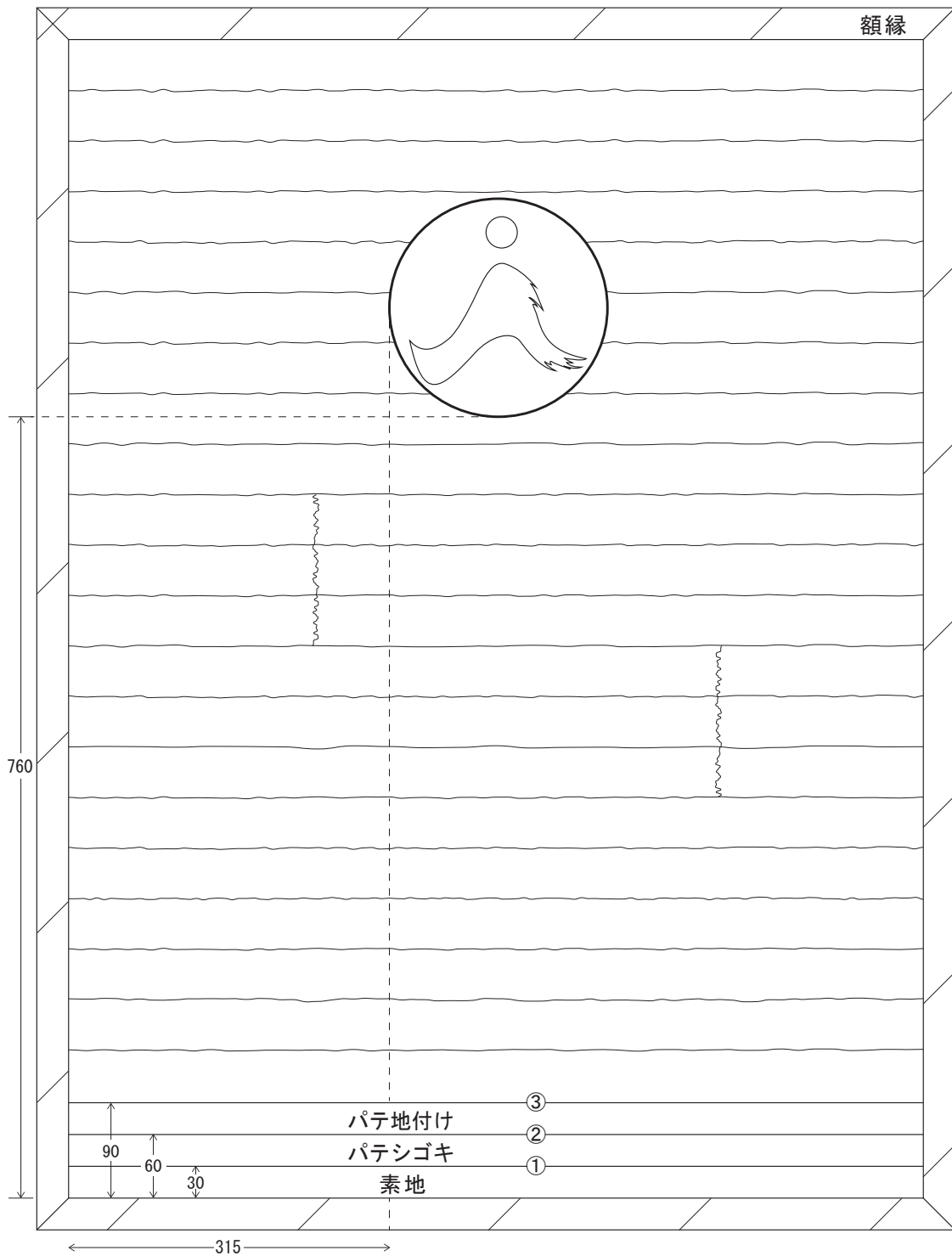


B 課題 (単層弾性ローラー塗り仕上げ)



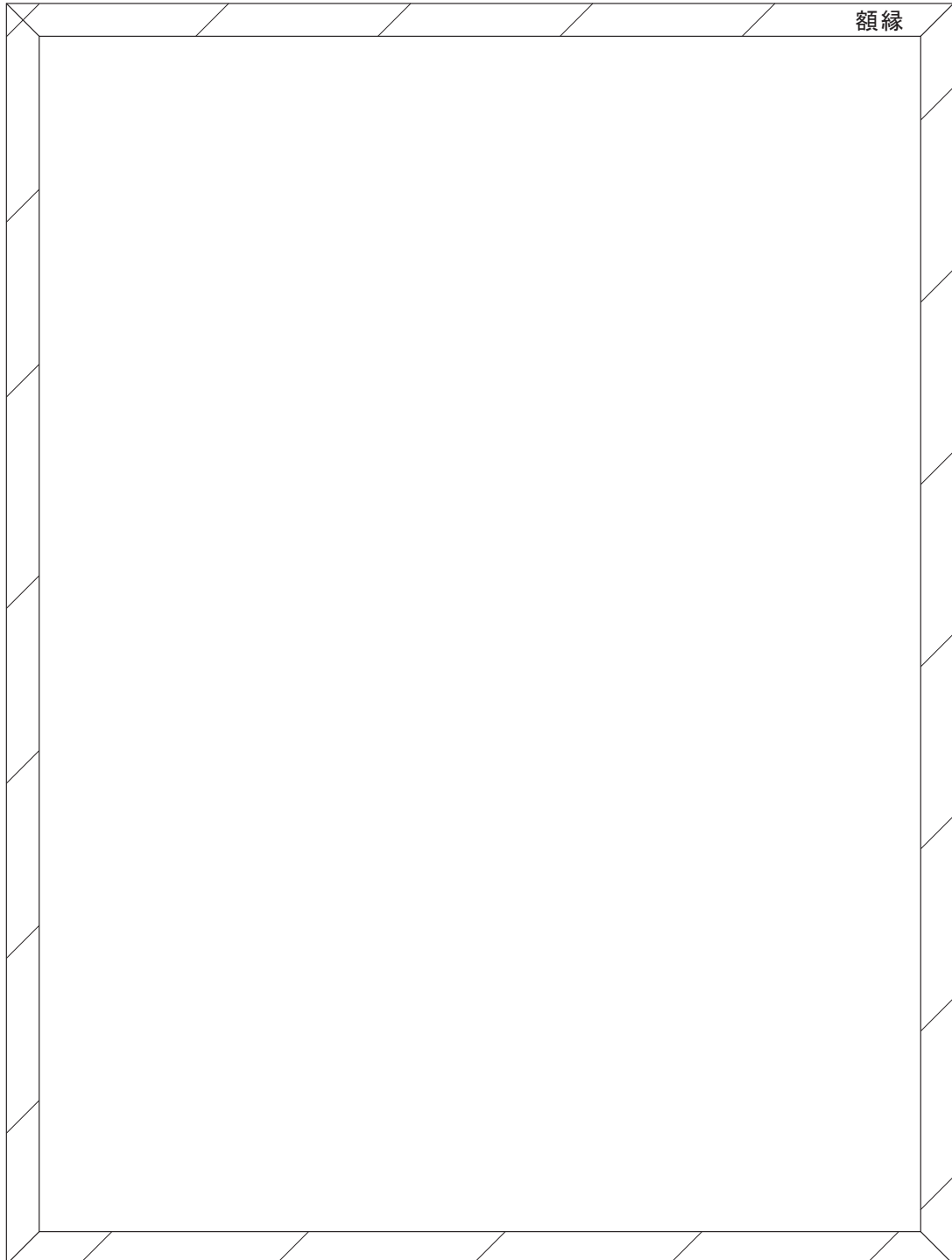
C 課題 (厚膜型シッケイ仕上塗材 櫛引模様仕上げ)

※アク止め防止のため素地にシーラー塗装済



D 課題（自由課題）

※指定テーマ 《住宅の内装の壁を創作する》



(A) (B) (C) 課題 下地調整共通

工 程		仕 様
1	養 生	杵材、イーゼル、テーブル及び床を養生しなさい（但し、床のラインは残すように）。
2	素地調整	付着物等は研磨紙を用いて除去、清掃をしなさい。
3	施工段階線①	課題図で示す素地のまま残す部分を計測し、鉛筆で線を引きなさい。また、マスキングテープ等養生材の使用は可とします。
4	パテシゴキ	課題図で示す施工段階線①より上を支給されている水性パテ（白）を金コテまたは金ベラで1回シゴキなさい
5	研 磨	施工段階線①より上を研磨しなさい。
6	施工段階線②	課題図で示すパテシゴキ1回目のまま残す部分を計測し、鉛筆で線を引きなさい。また、マスキングテープ等養生材の使用は可とします。
7	パテ地付け	課題図で示す施工段階線②より上を支給されている水性パテ（白）を金コテまたは金ベラで1回地付けしなさい
8	研 磨	施工段階線②より上を研磨しなさい。
9	施工段階線③	課題図で示すパテ地付1回目のまま残す部分を計測しなさい。また、マスキングテープ等養生材の使用は可とします。ただし、A課題のみテープ貼り等は不可とする。

- ※ 競技1日目17時55分までに下地作業1～7までは仕上げておくこと。
- ※ 全ての鉛筆の線は残さないこと。
- ※ D課題（自由課題）の下地は任意とする。

(A) 課題 つや有合成樹脂エマルジョンペイント刷毛塗り仕上げ

工 程		仕 様
10	区 画 線	施工段階線③より上で課題図にしたがって枠材の内側より寸法を計測し、区画線を引きなさい。
11	下 塗 り	調色（GP）したA色、B色、C色、指定色を課題図で示す区画線内に、刷毛を使って1回塗りで仕上げしなさい。
12	上 塗 り	調色（GP）したA色、B色、C色、指定色を課題図で示す区画線内に、刷毛を使って1回塗りで仕上げしなさい。
13	片 付 け	枠の養生は全て撤去し清掃をしなさい（床養生以外）。

- ※ GP：つや有合成樹脂エマルジョンの略称。
- ※ 調色板の提出は競技1日目17時45分までに選手が直接提出場所へ持って行くこと。
- ※ 全ての鉛筆の線は残さないこと。
- ※ 課題内（額縁より内側）は一切の養生テープ等の貼り作業は禁止とする。
ただし、施工段階線①、②についてはマスキングテープ等養生材の使用は可とする。

(B) 課題 外装薄塗材 E (単層弾性) ローラー仕上げ

工 程		仕 様
10	区 画 線	施工段階線③より上で課題図にしたがって枠材の内側より寸法を計測し、区画線を引きなさい。
11	モールディング の取付	モールディング「日塗装ロゴマーク」を、図面寸法位置に事前に貼り付けている両面テープを用いて貼り付けしなさい。固着確認後、周囲のマスキング等の養生は任意とする。
12	単層弾性塗り	支給された単層弾性材と多孔質ローラー（2種類）のみを用いて1回塗りで仕上げなさい。塗装前の試し塗りは任意とし、これらに使用する試し塗り用板等は各自で持参すること。
13	片 付 け	枠の養生は全て撤去し清掃をしなさい（床養生以外）。

- ※ 競技2日目10時までには仕上げておくこと（完成させておくこと）。課題の養生は全て撤去しておくこと。
- ※ 全ての鉛筆の線は残さないこと。
- ※ 試し塗りをする場合は各自で試し塗り用板を持参すること（試し塗りは任意）。
- ※ 支給された多孔質ローラーのみを使用し、その他の刷毛等の使用は出来ない。

(C) 課題 厚膜型シックイ仕上塗材 櫛引模様仕上げ

工 程		仕 様
10	区 画 線	施工段階線③より上で課題図にしたがって枠材の内側より寸法を計測し、区画線を引きなさい。
11	モールディングの取付	モールディング「日塗装ロゴマーク」を、図面寸法位置に事前に貼り付けている両面テープを用いて貼り付けしなさい。固着確認後、周囲のマスキング等の養生は任意とする。
12	下 塗 り	専用水性シーラーをローラー、刷毛を用いて1回塗りをしなさい。希釈率は任意とする。
13	厚膜型シックイ塗材	支給されたシックイ塗材を適量塗布し、専用ヘラにて横引きで枯山水に仕上げなさい。継ぎ目については課題内で2箇所のみ設けなさい。また塗材の配り付は金ベラ及びコテを使用すること。
14	片 付 け	枠の養生は全て撤去し清掃をしなさい（床養生以外）。

- ※ 競技2日目10時30分までに仕上げておくこと（完成させておくこと）。課題の養生は全て撤去しておくこと。
- ※ 全ての鉛筆の線は残さないこと。
- ※ 下塗り1回塗り及び上塗り塗材1回で仕上げ、これらの塗料及び塗材の希釈率は任意とする。
- ※ C課題に使用する厚膜型シックイ塗材は会場で支給するが使用量は概ね一人当たり1kg程度とする。
- ※ 枯山水模様の継ぎ目は2箇所作成すること（継ぎ目の場所は任意とする）。
- ※ 試し塗りをする場合は各自で試し塗り用板を持参すること（試し塗りは任意）。

(D) 課題 自由仕上げ (自由課題)

※指定テーマ 《住宅の内装の壁を創作する》

工 程		仕 様
1	自由工程	課題全体を自由に使い、建築塗装用材料（溶剤を含む、吹付け機器、電動式（充電式・電池式）を用いた工具、騒音を発する道具等また、スプレー缶などは不可、また霧吹きの使用については、水性を使用する場合に限り可とする）を用いて完成予想図のテーマに適合する作品を制作しなさい。製作に使用する着色、塗材、工法製作工具は限定しないがモルディング等の貼り付け部材は全て禁止とする。また、文字、アラビア数字、アルファベットは禁止とする。
2	片付け	枠の養生は全て撤去し清掃をしなさい（床養生以外）。

- ※ 競技2日目終了までに仕上げておくこと（完成させておくこと）。床以外の養生は全て撤去しておくこと。
- ※ 全ての鉛筆の線は残さないこと。
- ※ ベニヤに対する灰汁が発生する可能性があります審査対象外とします。
- ※ 下地のパテ処理は任意とする。
- ※ D課題に使用する材料は各個人にて持ち込むものとする。また、必要であれば厚膜型シツクイ塗材を会場にて支給する。但し、一人当たり1kg程度とする。

【A、B、C、D課題共通】額縁仕上げについて

- ※ 競技1日目終了までに仕上げしておくこと（完成させておくこと）。
- ※ 額縁（枠材）は支給材（水性ステイン）を刷毛塗り1回とし、枠の塗装作業の順番は任意とする。
- ※ 課題の完成は額縁（枠）の塗装を含む。但し、額縁の上枠天端及び下枠下端の塗装はイーゼルの作業枠から床面に下ろし、イーゼルにたてかけたまま作業しても良い（この作業のみ）。また、塗装作業中は課題を適宜天地替えしても差し支えないものとする。
- ※ 塗装後、ウエス等によるふき取り作業は任意とする。
- ※ 塗装前に素地調整を行うこと。
- ※ 課題は床に直置きをせず、枕木等で浮すこと。
- ※ 課題移動後の補修（部分塗装）は可とする。

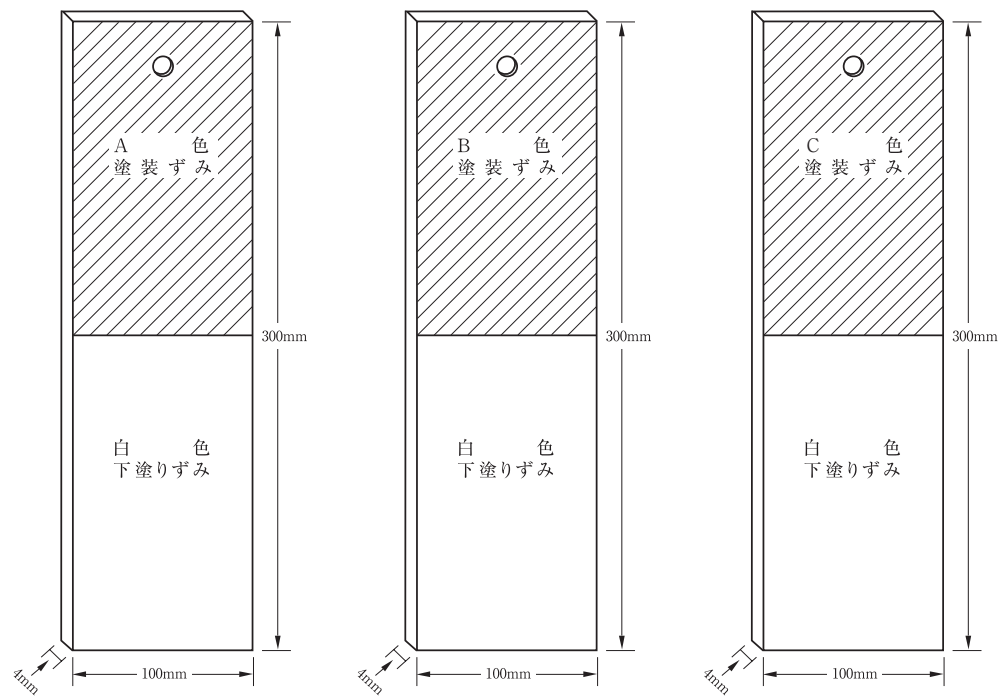
10. 調色板課題図

(A) 課題 (つや有合成樹脂エマルジョンペイント刷毛塗り仕上げ)

A色 (L 09 - 70 H)

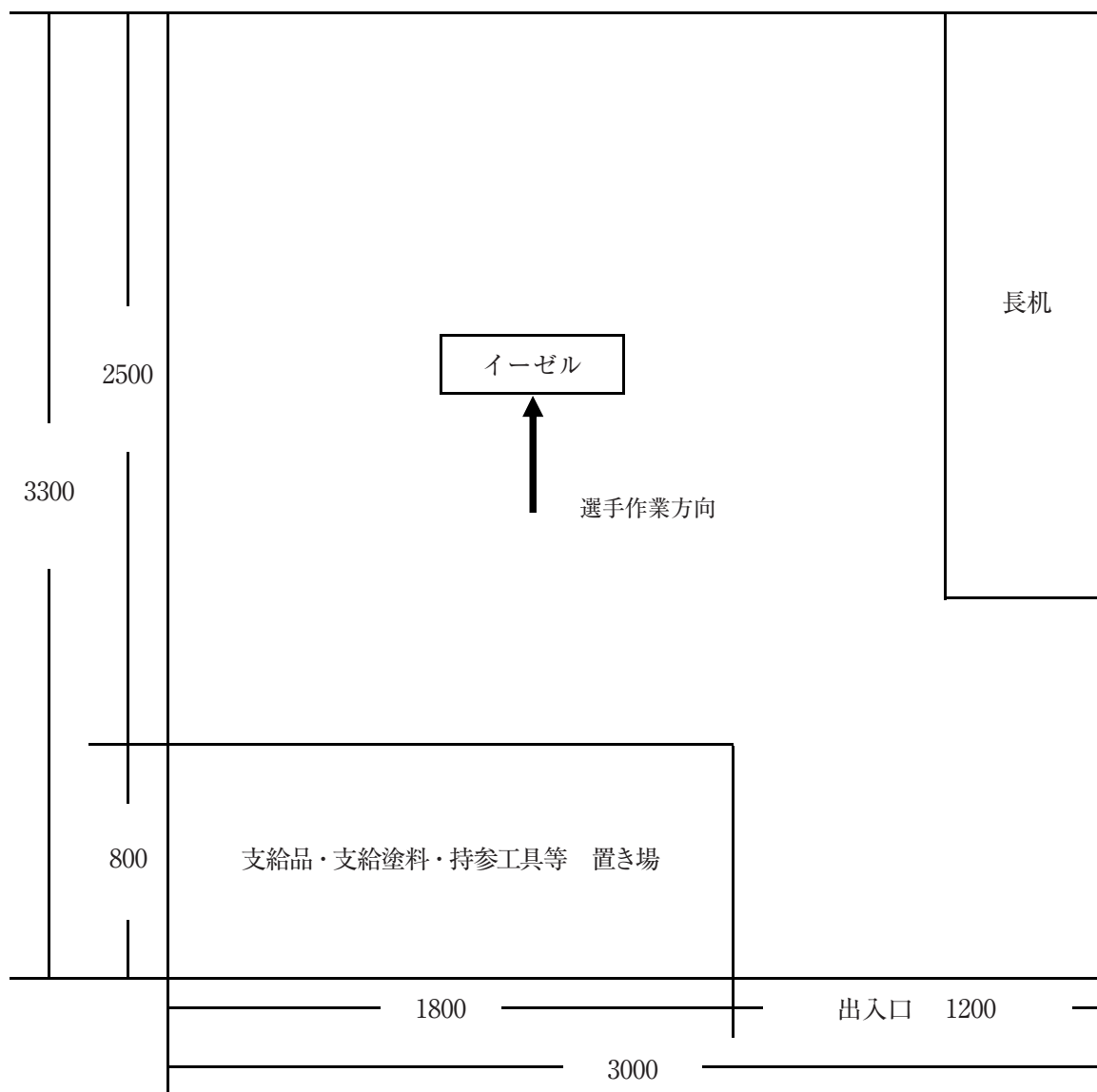
B色 (L 22 - 70 L)

C色 (L 39 - 50 H)



11. 1人当たりのスペース

※各数値の単位はミリメートル



選手1人分 作業スペース図

- ※ 材料置場は1800×800です。
- ※ 工具箱・コンテナサイズは「幅500程度×奥行400程度×高さ300程度」で2個まで持ち込み可。
また材料置場には全支給材料と持参工具（コンテナを含む）のすべてを納めることとする。

12. 支給塗料一覧表

下記の塗料が大会当日支給されるので、競技者は必ず確認して下さい。不足のものがあれば競技開始前に申し出るようにして下さい。下記の支給材料で作業すること（追加支給はしません）。

使用課題	塗料名	色名	形状・入り目	数量
共通	水性パテ	白	2 kg	1
共通	水性ステイン	ブラウン	0.1kg	1
A課題	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	白	1 kg	1
A課題	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	赤錆・黒・黄・紺	0.2kg	各1
A課題	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	L 15 - 80 D	0.5kg	1
B課題	外装薄塗材E（単層弾性）	D I C - N 708	1.5kg	1
C課題	※厚膜型シクイ塗材	白	会場にて常設	適宜
C課題	専用水性シーラー	白	0.2kg	1
D課題	材料は各個人にて持ち込む者とする。 ※また、必要であれば厚膜型シクイ塗材を会場にて支給する。			

※は所定の場所まで取りに行くこと

13. 支給品一覧表

下記の塗料が大会当日支給されるので、競技者は必ず確認して下さい。不足のものがあれば競技開始前に申し出るようにして下さい。下記の支給材料で作業すること（追加支給はしません）。

使用課題	品名	形状・入り目	数量
A・C課題	ラワン（額縁付）※シーラー塗装済	1200×910	2枚
B・D課題	ラワン（額縁付）	1200×910	2枚
B・C課題	日塗装マーク（発泡ウレタン）	直径22cm 両面テープ付き	2個
A課題	調色板	シナ合板 100×300×4	3枚
C課題	ローラーブラシ	ハンドル ミドルローラー スモール6インチ 巾155 13mm	1セット
C課題	ローラーブラシ		2本
C課題	厚膜型シックイ用クシ	専用ヘラ	2枚
A課題	調色用マスク		1枚
B課題	多孔質ローラー	標準ローラー（スモール型）・ハンドル	1セット
B課題	多孔質ローラー	コーナー用	1セット
B課題	ローラーバケット（ネット付）	M型	1個
B課題	ローラーバケットカバー（カートリッジ）	M型	3個
共通	さげ缶	全ての塗装に使用	1缶
共通	さげ缶カバー（カートリッジ）	全ての塗装に使用	6枚
A・B課題	研磨紙	P180・P240	各1枚
共通課題	定規 ステンレス製	線引き用 L=1000・L=600	各1本
A課題	コンパス 155ミリ		1本
共通	水2L		1本
共通	簡易マスク	ペーパー掛けの際必ず使用	1ヶ
共通	道具洗い用バケツ		1ヶ
共通	作業服	上着・ズボン	1着
共通	作業帽		1ヶ
共通	ゼッケン	胸・背つなぎ	1枚

14. 選手持参一覧表

使用課題	品名	形状・入り目	数量
B・C課題	試し用塗り板	単層弾性ローラー・厚膜型シックイ用	適宜
A課題	調色用簡易カップ	直接作業は不可	適宜
A課題	手定板	サイズ・材質は自由	適宜
A課題	金ペラ	サイズ・材質は自由	適宜
A課題	コテ	サイズ・材質は自由	適宜
A課題	かくはん棒（調色用）	サイズ・材質は自由	適宜
共通	マスキングテープ	粹養生他	適宜
共通	養生テープ	ガムテープ	適宜
共通	養生テープ	マーカー	適宜
共通	床面養生	サイズ・材質は自由	適宜
共通	刷毛	刷毛、筆等は各自で必要な用具持参	適宜
共通	ウエス		適宜
共通	休憩時荷物カバーシート	透明に限る	適宜
共通	マスク	感染防止用	適宜
共通	鉛筆（HB）		適宜
共通	同上削り器（手動のみ）		適宜
共通	枕木	サイズ・形状は自由	適宜
D課題	D課題（自由課題）材料及び工具		適宜
作業用踏み台	各自背丈に合ったものを持参しても良い		

- ※ 上記の項目以外で選手が必要とされる道具及びD課題に使用する塗料は持ち込みを可とします。但し、既に調色している塗料は不可とし、白及び各原色（黒・赤錆・赤・オーカー・黄・青）の持ち込みのみとする。また、D課題に使用する塗料の調色は競技2日目に限る。
- ※ 各支給塗料、各支給品及び選手持参品は会場に作業スペース（3300×3000）の中の材料置場（800×1800）内に整理整頓が出来る範囲とする。

15. 第27回全国建築塗装技能競技大会 褒賞内訳一覧表

内閣総理大臣賞
国土交通大臣賞
厚生労働大臣賞
国土交通省 不動産・建設経済局長賞
厚生労働省 人材開発統括官賞
新潟県知事賞
長岡市長賞
中央職業能力開発協会会長賞
一般社団法人 日本塗料工業会会長賞
日本塗料商業組合理事長賞
日本建築仕上材工業会会長賞
一般社団法人 日本塗装工業会会長賞
課題別部門賞（6部門） 一般社団法人 日本塗装工業会会長賞
特別賞：長岡造形大学、新潟日報社、（一社）長岡コンベンション協会、 （一社）新潟県建築士事務所協会

〔 部 門 賞 〕

課題名
自由仕上げ（自由課題）
つや有り合成樹脂エマルションペイント刷毛塗り仕上げ
下地作業 パテ平滑仕上げ
厚膜型シクイ仕上塗材 櫛引模様仕上げ
防水形外装薄塗材E（単層弾性）ローラー塗り仕上げ
調色

16. 会場・宿舎案内図

開催日：令和5年10月18日～19日（予定：18日 開会式、19日 表彰式）

会場：ハイブ長岡 大展示ホール



所在地

〒940-2108

新潟県長岡市千秋3丁目315-11

TEL 0258-27-8812

《会場へのアクセス》

JR長岡駅から

○路線バス

- ・中央循環バス「くるりん」（大手口8番線）
内回り「県立近代美術館」下車（乗車 約20分）
外回り「ハイブ長岡」下車（乗車 約25分）
- ・江陽環状線 外回り（大手口2番線）
「ハイブ長岡下車」（乗車 約14分）
- ・与板線（大手口2番線）
「ハイブ長岡下車」（乗車 約14分）

○タクシー 約12分



《選手宿舎 案内図》

選手宿舎：ホテルリバーイン

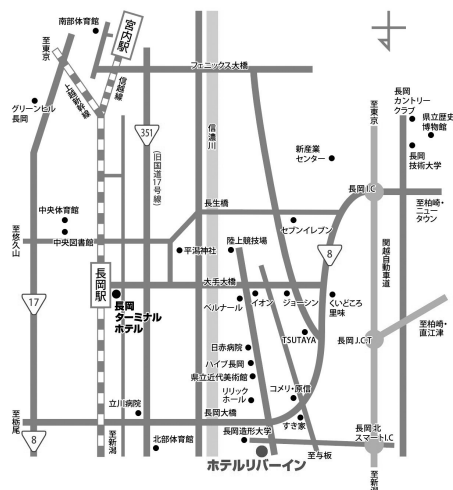
〒940-2021 新潟県長岡市宮関1-2-1

TEL：0258-28-2288

《交通アクセス》

JR長岡駅より車で約10分

ハイブ長岡より徒歩約10分



18. 出場選手

ブロック	選手氏名	よみがな	支 部	所 属 事 業 所
北海道	松 田 剛	まつだ たけし	北海道	(有)丸正マツダ塗装
2名	坂 田 弘 明	さかた ひろあき	北海道	(株)小林創業
東北	工 藤 新 次	くどう しんじ	青森	(有)西北塗装
	中 山 拓 哉	なかやま たくや	青森	(有)前田塗装
	大 友 千 春	おおとも ちはる	岩手	(株)富士塗装
4名	菅 原 裕 輔	すがわら ゆうすけ	岩手	(株)山口塗装店
関東	佐 藤 拓 真	さとう たくま	茨城	(株)サトウ塗工社
	五月女 貴 洋	そうとめ たかひろ	栃木	(株)コイケ
	泉 真一郎	いずみ しんいちろう	千葉	令和テクノス(株)
	加賀美 哲 也	かがみ てつや	山梨	(有)加賀美塗装店
5名	小 山 聖	こやま たかし	長野	宮澤塗装工業(株)
東京・神奈川	小 林 咲 奈	こばやし さりな	東京	佐藤興業(株)
	浅 津 星 亜	あさづ せいあ	東京	佐藤興業(株)
	森 幸 雄	もり ゆきお	東京	佐藤興業(株)
	立 川 陸	たちかわ りく	東京	(株)中村塗装店
5名	新 里 辰 郎	しんざと たつろう	神奈川	(株)ミスノ
北陸	渡 邊 優	わたなべ ゆう	新潟	斎藤塗装工業(株)
	今 井 優太郎	いまい ゆうたろう	新潟	ビソー(株)
	寺 澤 一 希	てらさわ かずき	新潟	キムラ塗装工業(株)
4名	稲 本 明 修	いなもと あきのり	富山	(有)平沢塗装
中部	石 川 剛	いしかわ ごう	静岡	日宏乃塗装(株)
	小 川 将 宏	おがわ まさひろ	愛知	(株)平田塗装店
	日比野 直 哉	ひびの なおや	岐阜	(株)日装
4名	田 室 龍太郎	たむろ りょうたろう	三重	(株)田室塗装
近畿	野々村 幹 雄	ののむら みきお	京都	(株)イマエ
	田 中 直 樹	たなか なおき	大阪	(株)三木塗装店
	中 本 敦 史	なかもと あつし	大阪	(株)石渡康三郎塗装店
4名	佐 野 昭 太	さの しょうた	兵庫	(有)三共
中国	瀧 本 公 紀	たきもと こうき	鳥取	(株)瀧本塗工店
	山 下 隆 次	やました りゅうじ	広島	(株)ゼンヤ
3名	岩 本 光 春	いわもと みつはる	山口	光塗装(株)

四国	今 井 一	いまい はじめ	愛媛	東洋防蝕工業(株)
2名	近 藤 智 香	こんどう ちか	愛媛	東洋防蝕工業(株)
九州	横 川 宏 晃	よこがわ ひろあき	福岡	(有)友栄
	前 田 誠 治	まえだ せいじ	熊本	(株)K Y O - S H i N
	押 川 敏 之	おしかわ としゆき	宮崎	(株)くちき
	國 生 力 也	こくしょう りきや	鹿児島	(株)市坪建装
5名	松 本 真 弥	まつもと しんや	沖縄	(有)沖塗工業
計	38名			

19. 出場選手の心得

全国建築塗装技能競技大会に参加する出場選手の基本的な心得をつぎの通り定める。

技能競技大会の期間中、競技会場内、宿舎およびこれらに付随する諸施設内にあつては、団体の秩序と友愛をモットーとし、互いに協力し合つて、技能の日本一を選出する大会にふさわしい環境を作るように心がけること。

いやしくも名誉ある大会の気風を乱し、選手の本分に反しないよう服装、言葉づかいなどには十分留意し、かつ品位を保ち、誇りある選手として、自覚ある行動をとるよう心がけること。

また各ブロックの代表として一般職人の模範でもある自覚をもって大会に臨むこと。

大会の採点に関する事項については、実施要項の通り作業ができているのはもちろんのこと作業態度等についてもふさわしい態度で臨むことが求められる。

(1) <競技大会実施中>

①作業態度

【作業中の態度】

作業中の態度姿勢は作業にふさわしいか。

(あぐら、地ベタ座り、尻つきなどはいけません)

各作業にふさわしい姿勢で作業しているか。

【服装】

腕まくり、裾まくりはいけません。帽子の正しい着用。

(帽子のつばが課題にあたる、作業時のみ後ろかぶり可)

ボタン、チャックの開けすぎ、靴は作業に適しているか等

【安全作業】

ペーパー掛け作業時、マスクを着用しているか。

他人にケガをさせた者は失格。

自身がケガをした者は減点。

②違反行為

- ・不正道具の使用
- ・材料の譲り受け(譲った者、譲られた者 両方)
- ・道具の貸し借り(貸した者、借りた者 両方)
- ・提出用の色見本に直接色試ししている者

- ・養生不可の部分に養生している者
- ・他の選手のスペースや通路に道具をはみ出して置いている。
- ・危険と思われる行為をしている者（※注意をして減点）
- ・その他違反と思われる行為

③整理整頓

- ・作業中、作業スペースが作業しやすいよう整理されているか。
- ・材料置場が機能的に整理されているか。
- ・ペーパー掛け作業中、ほこりが塗料に混入しない工夫をしているか。
- ・調色中、材料の転倒、こぼれに注意をしているか。
- ・調色中、塗料の乾燥皮張りに工夫をしているか
（ぬれウエス、マスキングテープを使ってかぶせている等）。
- ・道具類の後始末、及び道具等きれいにしているか。
- ・ゴミは小さくまとめているか。

※休憩中の整理整頓を重視する。

④終了時間チェック

選手の「終わりました」の合図を受けて終了時間とする（片付けを含め）。

⑤水の支給について

選手1人当たり2ℓの水（作業用）を支給する。

(2) <競技大会会場内>

1. 集合、競技開始、休憩等、競技中の進行時間を厳守し、特別の理由のない遅刻は絶対にしないこと。
2. 大会会場をはじめとし、施設、備品その他の公共物を破損しないもしくは紛失しないこと。
3. 会場へ集合前、終了後または休憩時間中、所定の場所以外への進入、立入りをしないこと。みだりに徘徊することも禁止する。
4. 公共物を大切に扱い、所持品の整頓に心がけること。
5. 雨具を用意してくること。
6. 期間中は、実行委員、審査員など主催者の指示に従うこと。

(3) <宿 舎 内>

1. 暴飲暴食をつつしみ、十分に休養、睡眠をとること。

2. 夜間は必要以上に大声、雑音を避け、他人の妨げとなる行為をつつしむこと。
3. 宿舎内の施設を大切にすることはもちろん、常に整理・整頓・美化につとめること。
4. 煙草は指定された場所で喫煙し、火災の予防にも心がけること。
5. 非常口、避難用具を確認し、緊急の場合の心構えを訓練しておくこと。
6. 不明な点があれば、遠慮なく実行委員まで申し出ること。

※なお、宿舎において目に余る行為があった場合は出場資格を失うこともあるので、十分注意すること。

第 27 回全国建築塗装技能競技大会実施要項
令和 4 年 12 月 15 日 第 1 版（ブロック大会版）
令和 5 年 8 月 1 日 第 2 版（全国大会版）

編 集 一般社団法人 日本塗装工業会 技能委員会

発 行 一般社団法人 日本塗装工業会